



第450号

2024年12月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

教区設立100年 後の課題

AGIFTを告げに出ていこう！ 次世代に信仰をいかにつなぐか？ 「隔ての壁」を壊し「新しい人」になろう

教区ホームページ

福音のひびき

12月の説教者

- 1日 待降節第1主日 スサント・プリヨ (江南教会)
8日 待降節第2主日 品田 豊 (神言修道会)
15日 待降節第3主日 ビリヤコルタ・ジョナサン・レイ・オリベロス (神言修道会)
22日 待降節第4主日 早川 和彦 (押切・小牧・守山教会)
25日 主の降誕 ベラルタ・アンヘル・ジュニア・ペレス (三河センター)
29日 聖家族 ビリスブッレ・ジュード (豊橋教会)

通常聖年の名古屋教区としての取り組みについて



2024年12月24日から2026年1月8日まで、ローマ・カトリック教会は通常聖年を祝うこととなる。教皇フランシスコは、2月11日、新福音化推進評議会議長サルバトーレ(リノ)・フィジケラ大司教に宛てた書簡を発表し、2025年の聖年の開催を告知し、「主の昇天」を祝った5月9日、2025年の聖年を布告する大勅書「Spes non confundit」(希望は欺かない)を発した。(カトリック中央協議会HPより)

新枢機卿に菊地功東京大司教が任命される



教皇フランシスコは、ローマ時間10月6日正午(日本時間午後7時)、パチカン・サンピエトロ広場に集まった巡礼者や訪問者に向けての「お告げ

自身のブログ「司教の日記」に記した枢機卿任命に際するメッセージの一部抜粋である。「驚きました。心の底からこれだけ驚いたのは久しぶりなほどに驚きました。そして困惑しました。枢機卿は単なる名譽職ではなく、教皇様の顧問として果たすべき役割が多々あることを考えると、自分の足りなさばかりが浮かんできます。……12月8日に親任のための枢機卿会が行われるそうです。それまでどんな準備が必要なのか、見当もつきません。……一緒に神言会の会員がもう一人枢機卿に任命されました。セルビアのベオグラドの祈り」において、タルチシオ菊地功東京大司教を含む21名を枢機卿に任命することを発表しました。(東京大司教区HPより) 以下は、菊地大司教が

表した。(カトリック中央協議会HPより) 聖年とは、本来は、ある一定の期間においてローマを訪れ、決められた条件に従って祈る信徒たちに、教皇が聖年の大赦(the Jubilee)と呼ばれる特別免償を与える一年であり、平和と免償を祈る一年と言える。旧約聖書の「ヨベルの年」(レビ記25:1-55参照)の、土地の安息、負債の免除、奴隷の解放という50年ごとにめぐってくるヘブライ人の聖年の考えに基づいている。教会の歴史に残る第1回目の聖年は、教皇ボニファティウス8世の命によって1300年に行われ、ボニファティウス8世は、この時100年ごとに聖年を挙行することを決めた。その後続いた教皇たちによつて、50年ごと、33年ごと、25年ごとと聖年を祝う期間が変更していったようである。(女子パウロ会HP、Laudare参照)



教区東八事第二墓地 合同慰霊祭

11月3日(日)の午後2時より、東八事霊園第二墓地において、名古屋教区合同慰霊祭が執り行われ、約70名が参列した。推尾匡文神父の司式により、ミサが捧げられた。説教の中で神父はご自分が最近、新聞の死亡欄に目を留めることが多くなり、故人の生前の功績などだけでなく、その方の享年にも注意をむけるようになったこと、自分も年齢を重ね、何時かは人生の終わりに思いを馳せるようになったことを話され、パウロの書簡中にある外なる人、内なる人

世界平和の日(1月1日) 聖パウロ六世は1967年12月8日、ベトナム戦争が激化するなか、来る1月1日を平和の日とし、平和のために祈りをささげるよう呼びかけた。それ以来、全世界のカトリック教会は毎年1月1日を「世界平和の日」とし、戦争や分裂のない平和な世界が来るように祈っている。 平和はキリスト教そのものに深く根ざしている。キリスト者にとって平和を唱えることは、キリストを告げ知らせることに他ならない。新年にあたって「信仰の原点に立ち返り、すべての善意ある人々と手をたずさえて、平和な世界の実現に向かって、カトリック信者としての責任を果たしていく」(日本司教団「平和への決意」)ことができるよう決意を新たにしたい。(カトリック教会情報ハンドブックより抜粋)

新成人(二十歳)と共に祝う 2025年教区新年の集い 2025年の教区新年の集いの日時は下記のとおりである。名古屋教区の新年を始める大きな行事であるので、是非とも多くの方々が参加し、共に祝いたい。 開催日時 2025年1月12日(日) 13:10 新成人(二十歳)受付開始(大聖堂入口) 14:00 ミサ(新成人祝福式) ミサ後 司教様と記念写真(ツーショット) 会場 布池教会大聖堂

希望は欺かない 二〇二五年の通常聖年公布の大勅書の紹介 2024年12月24日にパチカンのサンピエトロ大聖堂の聖なる扉が開かれて開幕し、2026年1月6日の主の公現の祭日に同扉が閉じられ閉幕する通常聖年となる。この聖年を公布する大勅書の日本語訳が刊行された。聖年を、神の恵みから希望を受け、神へと向かう歩みを強めていただく機会とするとともに、困難にある多くの人に希望をもたらす者となるよう招く。教皇庁内教院の免償に関する教令を併録されている。なお、原文の発表年月日2024年5月9日である。

2024年度 第2回 宣教司牧評議会

10月6日(日)の午後2時より、カトリック布池教会地下ホールにて、松浦悟郎司教をはじめ、出席した32名の委員で行なわれた。

- ①平和旬間については、8月11日(日)名古屋地区の平和旬間行事と8月12日(月)の北陸地区の平和旬間行事ことが報告された。
- ②今年度の予算執行の中間報告と、来年度の予算請求についての報告があった。
- ③殉教者祭(栄國寺)について(実施済み、別記事を参照)の報告があった。
- ④敬老の日については、75歳の高齢者用敬老カードの必要枚数を申請した教会は41教会、合計で336枚であったと報告された。
- ⑤来年度の行事予定表について各ブロック、委員会、各種団体へメール等で依頼し、年末各所へ配布予定とのこと報告された。
- ⑥その他は、カ障連より、

26年11月14日、15日名古屋において、カトリック障害者連盟全国大会の開催が予定されているとの報告があった。

審議事項

- ①新成人と共に祝う「教区新年の集い」については、教区行事予定にあって実施日を1月19日(日)から1月12日(日)に変更、昨年度のスケジュールより、すべてが前倒しとなることが決まり、青年委員会には昨年のような集いの有無の検討を依頼した。担当ブロックから茶話会がないなら、教会外でミニバザー的なことをして、能登被災

者支援の支援金を集めたいとの提案、司教からは、外国籍の信徒で二十歳を迎える人への声掛けを主任司教に配慮してもらいたいとの要望があった。

か「運営団体」なので、名古屋教区としてどうするかについて検討、審議し、加盟時期は今すぐではないため、この会議では判断が難しいので、各ブロック会議で意見交換し、その結果を次回、報告し、それらを基に宣司評で決定することになった。

支援を行うことが報告された。松浦司教からは、全国より教区に約2億円の寄付があり、うち2千万円を被災者生活復興支援に役立て、対象を信徒だけでなく、教会隣接の幼稚園職員も含み、残りを被災した教会や司祭館の解体や新築に充てること、こうした教会再建は教区として行うが、カリタスとサポートセンターはあくまでも被災者全体への支援を行うとの報告があった。その後、小グループで今後の課題について話し合い、教区として、毎月最終日曜日に被災地のために祈ること。

と、後は、特に決めないが、各小教区は、自主的に被災小教区に手紙や寄せ書きを送るなどで、私たちは忘れていないということを伝えることが決まった。

その他

⑥「福音のひびき」ホームページ説教2025年度版の担当司祭・助祭一覧表の案について、司祭の動向もあるため、変更があることが伝えられた。

能登地震豪雨災害地ボランティア活動に参加して

今年の元旦に大地震、そして今回の豪雨と二重の災害に見舞われた能登地方で、10月7日～9日に行われた支援活動の報告を紹介する。

ボランティア活動のベース地である七尾教会に入った。2台の車で輪島



水害にあった仮設住宅



七尾教会の現在

へ向かったが、この道中、道路のゆがみや亀裂、崖から落ちた乗用車、山から大木が民家の真横を10本程ずり落ちて、いる光景が目に入ってくる。輪島教会に着いたら教会は、更地になってしまっていた。

ここから軽トラックに救援物資と水を詰めたタ

ンクを積んで、巡回地向かう。「水の支援は本当に助かる」と住民の方々が感謝して下さった返答に窮し、「有難うござい

最終日、朝のお祈りに参加して、前日と同じように水の配給支援の手伝いをした。午後からは神社で、雨に濡れた段ボールの中身の詰め替え作業、支援物資の整理、配給の準備の手伝いを行った。作業は終了した。最終ミーティングで、カットナイフと手袋があるとよかったですね、という話になった。

活動の中継地となっている輪島教会は、震災に

煮物も買い、とても美味しかった。被災地の人々が作った製品を購入することが、彼らの大きな励みにつながることを知った。

カリタスジャパンのボランティアベースは七尾教会にあり、北海道、東京、神戸、名古屋の教会から6名が集まり、片岡神父を含むスタッフと共に、輪島市において被災者支援活動をおこなっ

た。震災より9カ月が経過しているが、輪島市には

まだ倒壊したビルや家屋が多く取り残されており、多くの人々が避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされている。そのような状態の中で、9月の能登半島豪雨が起き、多くの仮設住宅が床上浸水のため使用できなくなり、多くの人々が再度住居を失うことになってしまった。



三枝氏と出演者

第31回ウエルフェアコンサート

「美しき日本のうた」

さる10月17日(木)、A J U 自立の家後援会主催「第31回ウエルフェアコンサート」として、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、日本を代表する作曲家で、日本作編曲家協会副理事長の三枝成彰氏プロデュースによる「美しき日本のうた」と題したコンサートが開催された。

三枝氏は、2008年に日本人初となるプッチーニ国際音楽賞を受賞。2014年にイタリアプッチーニ音楽祭にてオペラ「JR バタフライ」を演出した。代表作にオペラは「忠臣蔵」やオラトリオ「ヤマトタケル」があり、又NHK大河ドラマ「太平記」や「花の乱」の音楽も担当。旭日小経章の受章と共に文化功労章の顕彰を受けている。

今回のコンサートは「日本が西洋から洋楽を入れてからの145年の歴史をたどる」をテーマに、懐かしさ、そしてなじみの深い童謡や歌謡やポピュラーソングの数々を二人のピアノと声の演奏にあわせ、NHK紅白歌合戦の出演やニューヨークでの定期ライブなどで世界で活躍の神野美伽さんや、著名なソプラノ歌手の小林沙羅さんはじめオペラ歌手の皆さんの素晴らしい歌声で心ゆくまで楽しんだ。

アンコールでは出演者全員がステージに上がり、手話通訳者も交え、「故郷」を観客と一緒に大合唱し、盛況のうちにコンサートは終了した。(A J U 自立の家後援会 木下努)



★答えはページ下欄に

12月の教会暦

1日(日) 待降節第1主日
宣教地召命促進の日(献金)

3日(火) 日本官教の保護者 聖フランシスコ・ザビエル司祭(祝)

7日(土) 聖アンブロジオ司教教会博士(記)

8日(日) 待降節第2主日
無原罪の聖マリア(祭)

9日(月) 聖ルチアおとめ殉教者(記)

13日(金) 聖ヨハネ(十字架の)司祭教会博士(記)

15日(日) 待降節第3主日

22日(日) 待降節第4主日

25日(水) 主の降誕(祭)

26日(木) 聖ステファノ殉教者(祝)

27日(金) 聖ヨハネ使徒福音記者(祝)

28日(土) 幼子殉教者(祝)

29日(日) 聖家族(祝)

通常聖年開始ミサ(布池教会)

1月の主な教会暦(主日・祭日など)

1日(水) 神の母聖マリア
世界平和の日

5日(日) 主の公現

12日(日) 主の洗礼(祝)

18日(土) 25日(土) キリスト教一致祈禱週間

19日(日) 年間第2主日

26日(日) 年間第3主日(神のことは主日)

世界子ども助け合いの日(献金)

10日(火) 樹の会/正義と平和委定例会

11日(水) カリタス福祉委員会

14日(土) 殉教者委定例会/典礼委員会
コアミーティング/信徒協賛委員会/社会委員会(金沢)*

17日(火) カトリック看護協会例会/カリタスのとサポートセンター運営委*

19日(木) 顧問会*

21日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア」

26日(木) 名古屋教区司祭・助祭の集い*/テ・デウム*

27日(金) 教区事務所仕事納め

1月 6日(月) 教区事務所仕事始め

11日(土) 信徒協賛委員会/典礼委員会
コアミーティング/宣司評運営委員会*

12日(日) 東山教会堅信式*/新成人と共に祝う「教区新年の集い」*

14日(火) 樹の会/正義と平和委定例会

15日(水) カリタス福祉委員会

16日(木) 顧問会/月集*

21日(火) カトリック看護協会例会

12月 5日(木) 常任司教委員会 会議

12日(木) 司教総会

1月 9日(木) 常任司教委員会 会議

13日(月) 祝 28日(火) 司祭養成研修会(フィリピン)

670件 35,693,214円
目標額 40,000,000円 (10月末現在)

達成率 約99.2%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

建設費の返済に協力を

**新駐日教皇大使に
モリーナ大司教が決まる**

教皇フランシスコは2024年1月25日付で新駐日教皇大使として、ベネズエラ出身のフランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教(Archbishop Francisco Gerardo Escalante Molina)を任命したことを発表し、エスカランテ・モリーナ大司教はハイチの教皇大使を務めていたが、2021-2023年に駐日教皇大使であったレオ・ボッカルディ大司教の後任として、大使を務めることとなった。

告知板

◇12月の炊き出し
木 5日東山、12日布池、19日聖霊・南山・樹の会、26日弁当
金 6日喜望の会、13日南山、20日布池

第18回 ホスピス聖霊講演会

テーマ **ホスピスケアを体験して伝えたいこと**
～「ありがとう」と言われて、看護はよろこび～

講師 水野敏子氏 えふてーぶるかご塾代表
日時 2025年2月22日(土)
講演 13:30~15:00(その後、30分の質疑応答) *入場13:00~
会場 聖霊病院2階 聖霊ホール
対象 一般
定員 100名 定員になり次第締切
申込み方法 はがき、封書、またはEメールに、氏名・住所・電話番号を記入の上送付。
・定員を越える場合は連絡有り。
締切 2月14日(金) 必着
・この講演会は、後日聖霊病院ホームページより配信予定。

申込み先および問合せ先
〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地
聖霊病院 カトリック社会事業室 ホスピス聖霊講演会係
でんわ (052)832-1181 (内線3316)
Eメール katosha@seirei-hospital.org

主催 聖霊病院 ホスピス聖霊推進委員会
後援 ホスピス聖霊後援会「ぶどうの会」

QRコードからも申込み可

映画「道草」上映会

実戸大裕監督作品
95分/日本/2018年/ドキュメンタリー

映画紹介(公式チラシより)
知的障害者の暮らしとは?
知的障害がある人の暮らしの場は広がっていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。
2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー付きのひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。
そんな中、16年夏には相模原障害者殺傷事件が起きました。この街で誰もがともにあるために、新しい選択肢を見つめてみませんか?

日時 2025年1月18日(土) 13:30~15:15
会場 カトリック名古屋教区センター2階
名古屋市営地下鉄東山線新栄駅から徒歩8分
桜通線車道駅から徒歩8分
JR中央本線千種駅から徒歩9分

参加費 カンパ制(600円を目安に)
主催 カトリック名古屋教区正義と平和委員会
連絡先 浅野幸治 asano@toyota-ti.ac.jp または090-8860-3627

〈カルメル修道会日比野修道院、講座、黙想企画〉

【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】
—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

日時 2024年12月21日(土) 14:30~16:30
テーマ サムエル記の全体構造とメッセージ②
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。
場所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)、参加費無料
どなたでもご自由にご参加ください。

担当 志村武神父(カルメル修道会)
問合せ 日比野修道院(052-671-1003)
以降の予定 1月18日(土)、2月15日(土)、3月15日(土)

【静修の集い】

日時 2024年12月14日(土) 10:00~15:00
講話担当 志村武神父(カルメル修道会)
テーマ 十字架の聖ヨハネの詩『暗夜』とアブラハムの信仰の深まり
スケジュール 講話①、ご聖体顕示、昼食、講話②、ミサ、茶話会
参加費 無料(自由献金をお願い致します)。どなたでもご自由にご参加ください。
持ち物 昼食(各自持参)
問合せ 日比野修道院(052-671-1003)

開催日変更のお知らせ

信仰の深みへと変容する読書会

濃尾 キリスト教史

「キリスト教信仰のあかしをたどる」
キリシタン時代から現代につづく信仰

※10月号でお知らせした開催日を変更します。今後の開催日は、2025年1月13日(月・祝)2月1日(土)3月8日(土)
12月7日は中止で、2025年1月13日から行います。

アジジの聖フランシスコ石橋泰助(神言修道会司祭) 訃報

略歴
1935年1月17日 東京都生まれ
1966年10月29日 司祭叙階

1970年~2003年 南山大学教員
1975年~1981年 神言神学院 院長
1983年~1989年 神言修道会 日本管区長
2003年4月1日 南山大学名誉教授
2024年9月19日 帰天(享年89歳)

故人の天国での永遠の安息を願い、お祈りしましょう。

★迷路の答えは[C]のお星さま